

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年12月20日更新

事務事業名		ボランティア表彰事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	政策部	課長名	内田 秀一郎
	施策	14 市民参画によるまちづくりの推進				所属課	企画課	担当者名	宮本 拓摩
	基本事業	41 地域づくり(まちづくり)人材の育成				所属班	政策企画班	(内線)	1253
予算科目		会計一般	款2	項1	目13	事業連番11542	法令根拠	合志市ボランティア表彰実施要綱 成果優先度評価結果：③ コスト削減優先度評価結果：⑪	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 23 年度) ☐ 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	市長マニフェスト項目として事業を企画した。平成23年10月19日に合志市ボランティア表彰実施要綱を制定した。ボランティア活動を通じて社会に貢献されている個人や団体の更なる活躍を期待し、感謝の気持ちを表すとともに、広く市民へボランティア活動の輪を広げていくことを目的として、県ボランティア月間である11月に年1回の表彰を行なう事業である。 被表彰者は、市内の各種団体の長または市の部局長に被表彰者の推薦を依頼し、推薦された候補者を書類審査により決定し、ボランティア表彰登録名簿に登録する。平成23年度は市ボランティア連絡協議会に推薦を依頼し、市社会福祉協議会主催の「ふれあい館フェスティバル2011」におけるイベントとして合併5周年の節目の年に第1回表彰式を実施した。 平成24年度は、表彰式に合わせボランティア実践している市職員の発表を行ない、合志市文化会館で第2回ボランティア表彰式を実施した。
【業務の流れ】	各区(自治会)、企業連、市内小中学校、民生委員・児童委員、市ボランティア連絡協議会などから推薦された個人や団体に対し、感謝状を授与する。表彰対象者は個人、団体ともに限定しないが、状況に応じて限定する必要がある場合は、合志市総合政策審議会へ諮問し、選考を行なう。
【主な予算費目】	需用費
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成24年度、環境衛生課から、市として環境美化委員の表彰を行ないたいと検討していたところであり、企画課のボランティア表彰式で長年環境美化委員としてがんばってくれた市民を表彰してほしいとの打診があり、推薦された該当者を表彰した。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO) 平成24年11月23日、合志市総合センター“ヴィーブル”文化会館において、第2回表彰式を実施した。 個人： 10人 団体： 11団体		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 表彰式と実践発表の実施 感謝状の額縁を授産施設手作りのものを活用する予定
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 個人表彰	人	
→ イ 団体表彰	団体	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
ボランティア活動を行っている個人と団体		→ ア ボランティア活動を行っている個人(社協ボランティアセンター登録数)
		→ イ ボランティア活動を行っている団体(社協ボランティアセンター登録数)
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
感謝の気持ちを表すことで市民にボランティア活動を広げる		→ ア ボランティア年間活動延べ人数(個人)(社協ボランティアセンター実績)
		→ イ ボランティア年間活動延べ人数(団体)(社協ボランティアセンター実績)
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画～年度
ボランティア年間活動数を成果指標とすることで、市民にボランティア活動が広がっていることが測れると考えた。平成24年度は平成23年度実績から目標値を設定した。		0

(2) 各指標・総事業費 の推移				単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
① 活動指標	人			0	2	10	10	10	10	10	10	10
	団体			0	3	10	11	10	10	10	10	10
② 対象指標	人			0	68	95	70	100	105	110	115	
	団体			0	82	89	82	92	95	98	101	
③ 成果指標	人			0	1,183	1,190	1,302	1,200	1,210	1,220	1,230	
	人			0	5,063	5,100	5,020	5,150	5,200	5,250	5,300	
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
		一般財源	千円		49	60	120	60	60	60	60	60
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	0	49	60	120	60	60	60	60	60
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	0	3	4	3	4	4	4	4
	延べ業務時間		時間	0	114	100	103	100	100	100	100	100
	(B) 人件費計		千円	0	460	403	419	403	403	403	403	403
トータルコスト(A)+(B)			千円	0	509	463	539	463	463	463	463	

合志市

事務事業名	ボランティア表彰事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度的事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 第2回表彰となる平成24年度は、市ボランティア連絡協議会からの推薦（個人・団体）に加えて、各区長からの推薦を依頼し、計10個人・11団体の21組の被表彰者が推薦され、表彰した。
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 平成24年度は、市ボランティア連絡協議会に加えて、各区長に推薦依頼を行ない、被表彰者・団体が増えた。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ボランティア表彰を行なっていくことで、市民にボランティア活動の輪が広がっていくことになり、ボランティア活動が促進される。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の予算であり、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の人数で可能な限り効率的な業務を行っている。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 ボランティア活動を行なっている市民全員が対象であり、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 役割分担は適さない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可					(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																									
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善（有効性改善） ☐ 事業のやり方改善（効率性改善） ☐ 事業のやり方改善（公平性改善） ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																														
					<table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>							コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持		○																											
	低下																													

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策